

授業見学をして感じたこと

就職支援室
新井亨

総長先生の御指導が行われる、上記授業を見学させていただきました。その中で気づいた感想を述べたいと思います。

授業の冒頭で西山先生は、その日に行う内容と授業に臨む態度を話すことで、学生たちのやる気と集中力をアップさせるようにしていたと感じました。画面の中に移っている学生達は、その言葉に真剣に耳を傾けていたり、うなずいたりしている姿が見受けられました。

その後、西山先生は過去問を学習させるのですが、音読をさせ、説明をして大事なところにマーカーで目印をさせ、問題を暗記させようとしていたのだと思います。しかし、説明不足だったり、問題が難解だったりしたので、学生の理解が進み具合に差があるのではと感じました。そのような時に、総長先生が的確なタイミングで、「このように説明したら良いのではないか」、「学生全員が理解したかどうか確認してください」「復習させてください」等の御指導をされたことで、学生たちの反応が非常に良くなっていったのが感じ取れました。

西山先生も御指導いただいたことを守り授業続けられたことで、スムーズな授業展開となっていったと感じられました。

今回、総長先生の的確なタイミングと的確な御指導により、そのお言葉の前と後では、授業の雰囲気、特にやる気が変わっていくのを目の当たりにすることができたように思います。この授業方法が公務員の試験対策として非常に適しているのだと強く感じました。

授業の最後に、総長先生より「地方上級の問題は難しいが、これを覚え理解することで、東京や埼玉や群馬で合格できる。これは出世コースの採用試験、ぜひ合格できるように勉強してください。復習をしっかりとするように。応援しています」との学生に向けての励ましの声掛けがありました。この声掛けをいただけたことで、学生のやる気が格段に上がったのではないかと感じました。そして、学生を思っている声掛けと、復習をして理解を定着させることの重要性を再認識いたしました。